

臨 床

赤ミミズ酵素サプリメント使用臨床医のコメント集

※書籍「よごれた血管がキレイになる赤ミミズ酵素―

10人の医師が証言する健康回復のすごい力」より抜粋

◎歯周病

(165 ページ～167 ページ)

赤ミミズで、自身のガンコな歯周病が改善

中野司朗 医師

私自身は赤ミミズ酵素の血栓予防効果を確認しています。というのは、僕自身の歯周病が劇的に良くなったからです。

脳梗塞や心筋梗塞と密接に関係している病気として、歯周病は注目されています。動脈硬化や血栓症というのは、体内の慢性的な炎症が病因となることが明らかになっています。したがって血栓症の予防のためには、歯周病をしっかり治すことが非常に重要なんです」

中野先生は、約 15 年前に歯槽骨の炎症があつて、県内の歯科医院に通っていました。外科的な治療を行うことで一時的には良くなるのですが、また悪化するということを取り返していました。かかりつけの歯科医（次項で登場する岡本吉正先生）が、この事実の証言者です。

ところが約 10 年前に中野先生が赤ミミズ酵素サプリメントを飲み始めると、とたんに（2～3 カ月で）暗い紫色だった歯肉に赤みが帯びてきました。長年の歯槽骨の慢性炎症が、医師や歯科衛生士も驚くほどの改善をみせたのです。

「それ以来、歯周の状態がすごくいいんです。岡本先生は『先生、何かしたんですか』と驚いてました。それ以来、岡本先生はほかの歯周病の重症の患者さんにも赤ミミズ酵素サプリメントを勧めて飲んでもらっているそうですが、みなさん同じように改善しているようです。血流を良くしてくれるとともに、抗炎症作用もあるのかもしれません。

科学的根拠はともかくとして歯周病を治してくれるということは、ストレートに脳梗塞や心臓病のリスクも大きく低下させてくれるということです。歯周病の人には、赤ミミズは即戦力となる。僕はその点でもっと評価できるんじゃないかと思っています」

寝たきりの原因として、ダントツで一位の脳血管障害。それは、その人の生まれもった体質、生活習慣、体内のさまざまな状況によって複雑に作り上げられているようです。だからこそ、予防もさまざまな方面から自分に合ったものを考え、複合的にアプローチしていくべきといえます。赤ミミズは、その一つの選択肢となるようです

(171 ページ～177 ページ)

赤ミミズと 3DS 療法で歯周病を改善する

岡本吉正 歯科医師

中野先生が最初に岡本歯科を訪れたのは、ちょうど中野先生が「中野レディースクリニック」を開業した 2006 年ごろのことです。

「そのころから中野先生は歯周病を発症しておられました。症状としては中程度ですが、初期治療完了後もときどき発作を起こして、歯肉が腫れたり出血したりして来院されていました。そのたびに外科的な歯周治療も含めて対処していましたが、なかなか改善しません。そういうことをくり返して、4～5 年は経過していたのです」

中野先生は、長年の愛煙家です。それが歯周病の発症だけでなく、期待する治療効果が得られない原因にもなっていたようです。

「喫煙は歯周病の重大なリスクです。喫煙者には歯周病を持っている人が多いし、歯周病が悪化する人は喫煙者に多い。ニコチンの影響で血管が収縮し歯肉の血液循環が悪くなり白血球の機能低下などが起こることが大きな原因でしょう。歯周病は歯周病菌による感染症ですから、喫煙者の歯肉は抵抗力が低下し感染が増悪しやすいのです。健康な歯肉は明るいピンク色ですが、喫煙者の方は歯周病がひどくなくても暗い紫色ですから、歯科医は見た目だけで喫煙習慣がわかります。さらに喫煙者の歯肉は、歯周病が重症化しても赤く腫れないのです。血管が収縮し血流が悪いので、歯肉の表面に炎症症状が現れにくいんですね。でも深部では、歯周病菌が大活躍して重度の炎症が起こり、歯を支える骨（歯槽骨）も吸収しやすいのです。見た目はなんでもないし症状もないので油断してしまうのですが、ちょっと疲労がたまったようなときに痛みが出たり腫れたりします。中野先生も、そのたびに麻酔して歯肉を切って深部清掃を行うのですが、どうしても再発する。歯槽骨の吸収も進んでいたんで、このまま行けば歯を失うことになるかと危惧していました」

3 カ月たらずでガンコな歯周病が改善した

中野先生が赤ミミズ酵素サプリメントの飲用を始めたのは、8～9 年前のことでした。そのときのことは岡本先生もよく覚えておられました。

「中野先生はずっと、3 か月おきに受診されています。そのあいだに発作が起これば、緊急で治療にみえる、というかたちでした。あのときも 3 か月ぶりに来院されたのですが、まず衛生士がクリーニングのために歯の状態をみたときにびっくりしていました。『中野先生、すごくよくなっておられます！』と言うので半信半疑でみたのですが、私もびっくり仰天しました。歯肉の色がぜんぜん違う、鬱血した紫色ではなくほのかにピンクがかっていました。何をやっても改善しなかったのにと、私は不審に思って先生にたずねました。

『先生、なにかなさいました？ タバコ、やめられました？』

中野先生は、タバコはやめてない、と。じゃあなぜでしょう……などと話していたの

ですが、やがて『そういえば、赤ミミズ酵素のサプリメントを飲み始めました』と言うのです。前回、来院されたあと間もなく飲み始めた、とおっしゃいました。

私は『それはいったい、どんなものなのですか』とお聞きしましたところ、いろいろと説明してくださったのですが、まあ、なんせミミズですからねえ(笑)。にわかには信じられなかったのです。ところが驚いたことに、喫煙するほかの歯周病の患者さんにお勧めしたところ、効果があったのです」

サプリメントには懐疑的だったが

岡本先生は、中野先生の改善例をほかの喫煙する歯周病の患者さんにもお話ししたそうです。岡本先生自身、現代医学の科学者として歯科医師の仕事をしているわけですから、当然ながらエビデンスのないサプリメントで歯周病が治るなどとは、まったく考えたこともありませんでした。しかし、中野先生の長年の歯周病が突然に改善した理由は、状況的には赤ミミズしか見当たらないのです。

中野先生の説明によると、赤ミミズの酵素は血栓を溶かす作用があり、血圧が高い人が飲用すると確実に下がる、ということでした。循環が良くなる可能性があるため、半信半疑ながら赤ミミズ酵素の効果かもしれないと、岡本先生は考えたそうです。

「それでもサプリメントですから安易に患者様にお勧めするわけにはいかないのですが、喫煙者でどうしても歯周病が改善せず、もう抜歯が避けられないと思われる患者さんには、お話ししてみました。するとぜひ試してみたいとおっしゃるので、ご紹介して、その方は1日5カプセルずつ飲み始めました(中野先生は6カプセル赤ミミズ 150mgだった)。そうしたらやっぱり2カ月くらいではっきりと改善してきたのです。その後の治療に対する歯肉の反応も良好で、問題の歯も抜歯しないで維持できています。

それからは、歯周病で長期に通院して改善していない方、とくに糖尿病と診断を受けておられたり、喫煙されている方にはお話ししています。みなさん長年歯周病でお困りですから、飲んでみたいとおっしゃいます。効果も、例外なく上がっているようです」

歯肉の毛細血管が良くなって、良い出血が

「たとえば、65歳の男性。けっこう大きい会社の社長さんなのですが、歯周病が改善しない。仕事が忙しくて、治療を続けてできないのです。手術にしても全部を行えず重症の部分だけ処置して、また期間を置いて処置したりしていました。口の中に感染症が常に存在するわけですから処置の効果が上がらないのです。口の状態は少しずつ悪くなっています。このままでは何本かの抜歯は避けられないと、ご本人にもお伝えしていました。

この方も赤ミミズを飲用しはじめて(1日5カプセル)2カ月くらいで歯肉の色が良くなってきました。経験的に、歯肉の色がこういうふうになってくれば治療に対して反

応も良くなっているはずと思えるような、そういう色に変わってきたのです。考えられないような改善で驚きました。ここまで改善するなら経時的に写真を撮っておけば良かったと反省しています」

「これだけ何人もの患者様で歯肉の色が良くなるということは、歯茎の内部でおそらく毛細血管の修復も含めて劇的な変化が起こっているのだろうと思います。この社長さんもその後、外科治療の際の出血がサラッとしていて、とてもきれいな色をしているのです。以前の鬱血した血ではない、新鮮な血。このような『良い出血』は、じつは歯周治療が効果を上げるためには大事な条件です。血液にこそ骨を再生する成分が含まれ、健全な毛細血管が傷んだ歯肉を修復し、歯周治療に対する良好な反応を引き起こすのですから。赤ミミズの効果があったと信じています。

また赤ミミズはとくに選択的に歯肉の血管だけに効くわけではないので、毛細血管の状態は全身的に改善されていると考えています

ただ、原料が動物性タンパク質でもあるので、アレルギー症状が出る可能性もあり、服用後の注意深い観察が必要と考えます」

赤ミミズ酵素サプリメントと 3DS 治療の併用

赤ミミズ酵素で重症の歯周病が改善していくのは、歯肉の血流が改善され免疫力と自然治癒力が上昇するからではないかと岡本先生は考えておられます。

「歯周病菌や虫歯菌はもともと口腔内にいるわけですから、それを減らすためには口腔内で対処することが理想です。だから歯周病菌や虫歯菌を減らすため、長期に渡り抗生物質を投与し、良性の常在菌他の臓器まで影響を与えることは望ましくありません。当然いつも口の中を清潔に保つ意識が大事なのですが、それだけでは十分な効果が得られない患者様もいらっしゃいます。そこで歯科治療の現場ではいま、口の中だけに現局して薬物を適用することで歯周病菌や虫歯菌を減らす治療法が実践されています。3DS と呼ばれる治療法です」

3DS (Dental Drug Delivery System) は、2000 年に国立感染症研究所の花田信弘博士らが開発した歯科治療システムです。口腔内をしっかりとクリーニングしたあとで、専用のマウスピースに抗菌剤などの薬剤を入れ、患者さんの歯列に 5 分程度セットします。3DS はまだ保険診療にはなっていませんが、自宅でも継続して行えて確実に歯周病や虫歯の原因菌を除去できるということで、導入する歯科医院がふえています。

「このような方法で口の中の歯周病菌を減少させ、一方で患部の歯肉では赤ミミズの飲用で血流を改善させ自然治癒力を高める、これを同時に行うことで歯周治療の効果はさらに大きくなると思います。経験上赤ミミズの歯周治療における効果は実感していますから、とくに 3DS を行っているような歯科医院では赤ミミズ酵素サプリメントについてもっと知るべきだし、治療に活用してみる価値は大いにあると思います」

3DS の治療を受けると、長年高血圧気味であった患者も程なく血圧が下がることがよくあるそうです。血液中にとりこまれる有害な菌が減り、それによって血管内壁を傷つける毒素の放出も減るために、血管のダメージが小さくなるからと言われています。

歯周病の治療は、全身の血管を健康に維持することに密接に関係します。心筋梗塞や脳梗塞など血栓症の予防を実践するなら、口腔衛生も決しておろそかにはできません。